

教えて！ すこやかさんのハッピーライフ！

元気でいきいきと素敵な毎日を送る
「すこやかさん」をお訪ねして、魅力いっぱいのハッピーライフをご紹介します。
よりお客様とのコミュニケーションを深めたいと思っております。

すこやか 広場

すこやか広場は、お客様の
元気や健康を考えたり、
お客様とのコミュニケーションを
広げるために発信しています。

No.11 ユニチカ 生活健康事業部
〒541-8566 大阪市中央区久太郎町4-1-3

今回のすこやかさん

日本昆虫学会 会員

桂 孝次郎さん (大阪市)



「子供の頃から虫が大好き。一生追いかけてたいですね」

ハナアブを追いかけて、先週の休日は九州の山へ。

今回は、大阪市西区で「大阪のファール」と呼ばれる桂孝次郎さんをお訪ねしました。桂さん

の本業は眼鏡店の経営ですが、休日ともなると野山や公園へ昆虫を採りに行くという昆虫研究家でもあるのです。
「今、夢中になっているのはハナアブ。これまでたつた二匹のメスしか採れていないハナアブのオスを採りに昨日は、九州へ行ってき

ました」と桂さん。桂さんは仲間と「双翅目談話会」を立ちあげ、会員数は200人以上にもなっているとのこと。「日本のハナアブ」という本も出版されています。



桂さんが出版した「日本のハナアブ」。

桂さんによると昆虫採集の時は虫アミを持って3〜4時間もポイントで待つこともしばしばだとか。「大人が虫アミを持っていると変に思われるから、子供が幼い頃は連れていきました」と笑う桂さん。息子さんが幼い頃に、自宅近くの公園でウシカメムシの

子供たちにも、もっと虫とふれあう機会を。

眼鏡店と自宅を兼ねたビルの上にある小部屋が桂さんの「研究室」。部屋いっぱいに標本や専門書が積み上げられています。子供

語るときは少年のように楽しそうです。
「昆虫のことを考えているとストレスもなくなります。ただ去年は腰を痛めてあまり虫を採りに行けなかった。虫を追うにも体力、健康が大切ですね」と桂さん。一生、虫を追いかけていたいという好奇心いっぱいの瞳がきらきらと輝いていました。

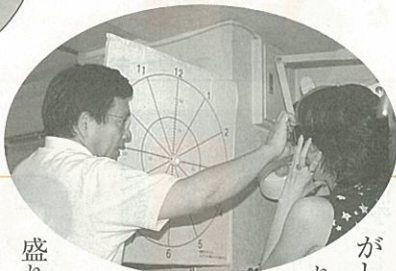


顕微鏡で、真剣にハナアブを観察している桂さん。



採取したハナアブの標本のほんの一部を見せてもらいました。

桂さんが採ったハナアブの標本。



本業の眼鏡店で視野の測定機を使い説明する桂さん。

新しい生態を発見し、NHKが取材にきたこともあるそうです。「遠い山に出かけなくても、近くの公園には公園の生態系がある。観察してみると楽しいですよ」とニコリ。
「最近虫を追いかける子供が減ってきていますね。つかまえた虫を大人が『かわいそうだから逃がさない』と言う。逃がすよりも、じつと観察することで見つけることは、子供の探究心を育てる機会なんです」と残念そうなお様子。
本業では、眼鏡店を切り盛りしながら28年間にわたって大阪大学眼科の検査室に勤務していたこともあり、視野を計測する眼鏡を開発し特許をとるほどの実力者。でも、昆虫のことを